

2016年度京都造形芸術大学入学式 式辞

2016年4月2日（土曜日）

尾池和夫

京都造形芸術大学芸術学部に入学者が1年次入学824名、2年次編入学10名、3年次編入学17名、大学院修士課程76名、博士課程10名の入学の皆さん、入学おめでとうございます。瓜生山学園の役員、副学長、学部長、研究科長、すべての教職員とともに、皆さんの入学をお祝い申し上げます。

18年以上の歳月を、ご家族の皆さまは、学習の支援をしながら見守ってこられました。入学式を迎えられた感激もひとしおであろうと思います。ここからお祝い申し上げますとともに、大学生となられた、あるいは大学院生となられたご家族を、これからは独立した社会人として、静かに見守ってあげていただきたいと思います。

皆さんは、この瓜生山学園の京都造形芸術大学を選んで入ってこられました。瓜生山学園全体の役員と教職員が、皆さん期待に応えるよう、精一杯の準備をして歓迎いたします。さらに今日午後には京都芸術デザイン専門学校の入学式が行われます。また、京都文化日本語学校の学生も、さらに本学の通信教育部の入学者も加わります。これらの皆さんと瓜生山学園での交流を愉しんでいただきたいと思います。

今年3月19日の卒業式で、この京都造形芸術大学の通学部で学位を得た方は、現在までに、博士37名、修士890名、学士9758名になりました。これらの皆さんの先輩たちが世界の各地で活動しています。皆さんはその先輩たちを追いかけながら、あるいは追い越しながら、自らの道をしっかりと開拓しながら進んでいただきたいと願っています。

皆さんのお手元にはすでに、『京都造形芸術大学を学ぶ』という冊子があるはずです。学習の最初に、この冊子でこの大学のことを学んでください。先ほど、松平定知教授が力強く読み上げた「京都文藝復興」を、この大学は基本理念としています。新しい世紀を迎えようとした時、本学の設立者である徳山詳直さんが書きあげたものです。芸術文化探求へのとどまることのない研鑽が、人類の未来を、希望あるものへ導くと、この私も信じています。大階段を登った場所にある「芸術立国之碑」に刻まれた言葉を、ときに読んでみて、その意味を考えてみてください。

先輩たちの活躍している様子の一部として、今年の冊子では特に芸術活動の様子が紹介されています。しかし、これらが決してすべてではありません。冊子にもあるように、皆さんの可能性は無限で、今までの就職先の業種は、多い順に、TV・映画・音楽・イベント、アパレル・テキスタイル、広告、建築設計・内装・造園、ゲーム・アニメ・CG、食品、文具、玩具・雑貨などがあり、クリエイター職のほか、企画、営業、マーケティング

など、多様な職種に、先輩たちは就職しています。

今年入学したあなたたちも、いち早く自分の人生の向かう道を探す意思を持って、授業、制作、プロジェクト活動、ボランティア活動などに取り組みながら、1年次、2年次で学んだ知識や身につけた体験がもとに、3年次、4年次では将来のビジョンを明確にしていくよう、今からこころがけていただきたいと思います。

学習や学園の内外の活動のためには、何よりも心身の健康が大切です。とくに朝食をきちんととることが、1日の活動のために重要で、学食では京野菜の特長を活かしたりして朝食の美味しいメニューを提供しています。さまざまな場面で学長が発行した朝食券を手に入れる機会もあると思います。それもぜひ活用してください。

芸術を学んだ人が従事している仕事にはどのようなものがあるのでしょうか。私がすぐ思い出す事例をあげてみましょう。

まず思いつくのが映画学科の卒業生であるマジシャンです。プロのマジシャンとして仕事をするには、マジックの技術以外に、観客を惹きつける演技力と優れた表現力、コミュニケーション力が必要とされます。マジックの場のシチュエーションまで演出することが大切です。

プロの絵本作家が私の同級生にいます。絵本作家は、オリジナルの絵と文章で絵本を作ります。子供にも理解が出来る、オリジナリティのある作品を作ります。それで生活していけるとするのはたいへんな努力と学習の成果であると私は尊敬しています。

建築学科を卒業して華道の家元をつとめている人が知人にいます。華道、つまり生け花ですが、植物や植物と他の材料の組み合わせを鑑賞する日本の芸術です。華道というからには道を求める意味合いが強調されます。建築学の学習がそこでは見事に活かされています。

皆さんも視野を思い切り広く持って、さまざまな可能性に挑戦し、確信を持って自分の進む道を選んで卒業、あるいは修了の日を迎えていただきたいと思います。

白川通に面した智勇館の竣工式が2016年3月15日に行われました。その時にも話しましたが、この地にはかつての調査で縄文人が住んでいたことがわかっています。そのとき、古代のアイヌ語を話していたと考えられ、日本語語源研究会主宰の吉田金彦さんによると、北白川の「シロ」あるいは「シラ」は、「縄張り」あるいは「生きる糧を得る場所」という意味を持つそうです。その北白川の地で学習し、見事に愉しむことのできる人生を送っていただくことを期待しています。

白川通りをはさんで大学の建物がありますが、白川通りは車が多く走る道です。くれぐれも横断歩道で交通信号を守って道路を渡るようにしてください。何よりも心と体の安全

と健康を大切にして学習に励んでください。

学園生活を、一杯楽しんでください。そして皆さんの目標は、それぞれの目指す学位を取得することです。それに向かって、学習と制作に取り組んでください。これからの毎日を楽しんでくださるよう祈って、私の式辞とします。

入学式を迎えられた皆さん、本当におめでとうございます。

ありがとうございました。